

区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

巻 頭 言

我が車人生

押 谷 伸 英

(社会福祉法人石井記念愛染園附属愛染橋病院 内科 副院長)

軽くブレーキを踏み減速、ハンドルを右に切りアクセルをちょこっと吹かし颯爽とコーナーへ。コーナー真ん中は湧き水が流れた後の如く濡れている。次の瞬間ブルーバードUの後輪がツツと左へ滑りだす。カウンターステアを当てたが車は180度回転。反対車線のガードレール脇でようやく止まった。対向車が来ておれば全員即死であったかもしれない。この間映画のスローモーションを見ている様であった。「オイルや!!」。大学生の頃、友人、結婚前の家内と車2台連ねて静岡方面へ旅行中の話である。富士スピードウェイを見ようと訪れたが、サーキットには入場できず。レースで事故をおこした車がレッカー車に牽引されていく光景を見た。そう、コーナーの真ん中であの事故車からオイルが漏れ出したのに違いない。まあ、実害もないし、携帯も無い時代。スピードウェイに戻って文句を言ってもしょうがないと、そのまま旅行を続けた。

父親は運転免許を取っていなかったが、母親は私が小学生の頃免許を取り、昭和32年式のサニーを購入。当時東京都練馬区に在住していたが、祖父母の住む大阪まで母、弟と3人で東名・名神高速道を走り往復したこともある。その頃父はフィリピン赴任中であっ

た。その後父の仕事の関係でベネズエラに2年間在住。この間はGMのカプリスというフルサイズのアメ리카車を母が運転。高速道路を140kmで飛ばすこともあった。父は、昔フィリピンで運転手に買ってこさせた免許を持っていたようだが、しらふでは決して運転しなかった。日本に帰国後、フィリピンで取得した免許は無効であったようでよかったが。

当時の学生は大学入学と同時に争う様に自動車学校に通い免許を取得したものである。大学入学後購入した、中古のブルーバードUが自動車遍歴の始まりとなる。もともと図体がでかく、1600ccの排気量である。加速もたいしたことはなかったが、点火プラグの隙間を調整したり、電気コードを抵抗の少ないものに変えたり、果てはタイミングランプを購入し点火時期の調整まで行ようになった。ディストリビューターをフルトランジスタに変更したのはいいものの、その後低回転でエンストを繰り返すようになり、修理工場でも原因不明。結婚と同時に真っ赤なカローラレビン、いわゆる86レビンに乗り換えた。排気量1600ccであるがDOHC、136馬力位あったと思うが、軽量のため俊敏な走りであった。その後子供2人を授かることとなり、レビンには子供達との思い出がいっぱいつまっていた。それから何台か車を乗り継いだが、今は国産のなんの変哲も無い車に乗っている。し



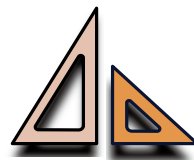
かし、オートマ、パワーハンドル、クルーズコントロール、カーナビ等々、レビンの頃と比べると天国のような快適さとなっている。

レビンを1年間義兄に預けてイギリス留学することになった。もちろん夫婦2人して車大好きであるので早速中古のMG マエストロというイギリス車を購入。販売店の若社長は調子のいいことばかり言っていたが、タイヤはボロボロで今にもパンクしそうであったし、1年経ったら買い戻してくれると約束していたが、1年後交渉しても、オレ知らねえってことであった。とある小雨の日、スーパーマーケットの駐車場で小さな車の運転席から手を出して助けを請う姿に遭遇。どうしたのかと近づくと80歳位の高齢の女性が「車から降ろしてくれ」とのこと。降車する手伝いをすると、「サンキュー」といって、杖をつきながらよたよたとスーパーに向かっていく。車がないと不便なのであろうが、それにしても驚いた。

しかし、そのような高齢の運転手に驚いていたのも遠い昔。昨今の日本では、日本に限らないかもしれないが、高齢運転手による道路の逆走や、アクセル、ブレーキの踏み間違いと思われる不幸な事故が世間を賑わせている。ギア式でクラッチを踏まなければいけない車であれば踏み間違いはかなり減るのだろうが、さりとて今更オートマからギア式に戻るのは体力的に無理である。左の膝が持たない。かく言う私も昨年還暦。病院の有志に赤いちゃんちゃんこを着せていただきお祝いただいた身である。これから運転できる時間もおそらくあと20年未満。その間視力、反射神経、集中力、腕力、全てが劣化していくわけである。遺された車人生、今までより一層安全運転に気を付け、運転免許の現役引退時期を誤らぬよう生きていきたいと思う。



理事会報告



◎令和元年度7月定例理事会

日 時 令和元年7月26日〈金〉

午後8時～9時48分

場 所 浪速区医師会 会議室

協議事項

1. 大阪府在宅医療移行支援事業（在宅医療普及促進事業）について 〈澤井会長〉
この事業の目的は「在宅医療に携わる医療従事者等に ACP を含め平成30年3月に改訂された『人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン』の理解を促進すること」である。申請締め切りが8月末となっているが申請するか否かについて協議願いたい。

協議の結果、高齢者・在宅医療担当で内容を精査し、申請するか否かを決定することとなった。

2. 浪速区要保護児童対策地域協議会代表者会議（8月22日〈木〉）への出席者について 〈澤井会長〉
浪速区役所で午後3時より開催される。出席者について協議願いたい。

協議の結果、中村理事に出席可能かを確認することとなった。

3. 退院支援にかかる多職種研修会（10月5日〈土〉）について 〈有田副会長〉
標記研修会が午後1時からリゲッタ IKUNO ホールにて開催される。
対象者は、退院支援に関わる専門職・在宅医療や介護に関わる専門職等である。

協議の結果、久保田副会長が出席することとなった。

4. 医師とケアマネの連絡会の開催日程（11月9日〈土〉午後2時・浪速区社会福祉協議会）について <橋村理事>
認知症等高齢者支援地域連携事業の一環で実施する標記連絡会の開催日を決めたい。

協議の結果、11月9日〈土〉午後2時から社会福祉協議会にて行うことに決定。

5. レクリエーション（10月6日〈日〉）の参加費について <川田理事>
参加費を決めたい。

協議の結果、参加費を決定。

6. 社会保険講習会の日程について <岡藤理事>
標記講習会の開催日程を決めたい。

協議の結果、候補日を11月21日〈木〉または11月28日〈木〉とし、府医と調整することとなった。時間は午後2時からである。

7. 敬老の日（9月16日）のプレゼントについて <川田理事>
例年どおり、敬老の日にプレゼントを贈呈したい。

協議の結果、図書カードを贈呈することに決定。

8. 本会夏季休館日（8月10日～18日・土日祝含む）の電話転送日について <入野理事>
夏季休館中の電話転送日を決めたい。

協議の結果、8月13日〈火〉～8月16日〈金〉までとすることに決定。

9. その他
なし。

報告事項

1. 郡市区等医師会長協議会（納涼）について（7月18日〈木〉） <澤井会長>
次第は次のとおり。

▷開会

▷会長挨拶

▷郡市区等医師会新会長紹介

▷報告事項

- (1) 第145回日医定例代議員会（6月23日）報告の件

▷連絡事項

- (1) プレミアム付商品券事業の件

- (2) 毎月勤労統計調査「第二種事業所調査」「特別調査」協力依頼の件

- (3) 本会創立72周年記念行事および令和元年度健老会開催の件

- (4) 「日本医師会最高優功賞受賞記念大阪府医師会長賞」被表彰団体推薦依頼の件

- (5) 8月度行事・会合日程の件

- (6) その他

▷協議

▷閉会

（詳細 略）

2. 大阪市医師会連合会委員会について（7月8日〈月〉） <澤井会長>
次第は次のとおり。

▷連絡事項

- (1) 認知症疾患医療センター「かかりつけ医認知症対応力向上フォローアップ研修」事業の件

- (2) 令和元年度大阪市立学校園教職員ストレスチェック制度にかかる面接指導業務委託契約の件

- (3) 大阪市国保特定保健指導アンケート調査（利用者）の件

-
- (4) 令和元年度重複・頻回受診者健康教育
啓発事業の件
- (5) その他
▷協議事項
- (1) 令和2年度大阪市予算の編成に対する
要望の件
- (2) その他
(詳細 略)
3. 愛染橋病院開放型病院運営委員会について
(6月22日〈土〉) <澤井会長>
次第は次のとおり。
▷登録医総会の開催について
▷運営委員について
▷新規登録医・退会登録医の承認
▷活動報告
▷その他
(詳細 略)
4. 大阪府医師信用組合第66期通常総代会
について
(6月26日〈水〉) <徳田副会長>
平成30年度の事業報告、決算報告が行
われ、次に平成31年度の事業計画、収
支予算について協議をおこなった。すべ
て提案通り可決された。
(詳細 略)
5. 大阪府医師国民健康保険組合第1回通常
組合会について
(7月25日〈木〉) <徳田副会長>
次第は次のとおり。
▷開会
▷理事長挨拶
▷議事録署名人の選任
▷報告
第1号報告
事業経過報告の件
▷議事
第1号議案
平成30年度大阪府医師国民健康保
険組合事業報告に関し認定を求める
件
- 第2号議案
平成30年度大阪府医師国民健康保険
組合歳入歳出決算に関し認定を求め
る件
- 第3号議案
平成30年度大阪府医師国民健康保険
組合歳入歳出決算剰余金処分に關し
議決を求める件
- ▷閉会
(詳細 略)
6. 在宅連携協議会について
(7月10日〈水〉) <久保田副会長>
次第は次のとおり。
▷アップグレード後のAケアカードシス
テムについての感想と今後の希望
▷第1回在宅医療連合学会大会での発表
について
▷管理工学研究所からの報告
▷その他
(詳細 略)
7. Aケアカードシステム説明会(検査会社対
象)について
(7月18日〈木〉) <久保田副会長>
次第は次のとおり。
▷Aケアカードシステムのこれまでの経
緯について
▷秘密保持契約書(NDA)契約について
▷検査項目の追加について
▷その他
協力いただいていた8社の検査会社より、
7社(10名)の出席があった。
(詳細 略)
8. 医療情報委員会について
(7月11日〈木〉) <久保田副会長>
次第は次のとおり。
▷開会
▷報告事項
(1) 大阪府医師会会員証および日医師資
格証に関するアンケート調査の実施に
ついて
-

-
- (2) その他
▷協議事項
(1) 諮問事項について「医療における ICT 化施策への（医師会・医療機関の）対応について
～オンライン資格確認、医療等 ID の導入などを見据えて」
(2) その他
▷今後の日程
▷閉会
(詳細 略)
9. 大阪警察病院地域医療支援病院運営委員会について
(7月25日〈木〉) <久保田副会長>
次第は次のとおり。
▷開会のご挨拶
▷議題
(1) 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率
(2) 地域医療連携センター利用状況
(3) 紹介元・逆紹介先医療機関リスト
(4) その他
▷閉会のご挨拶
(詳細 略)
10. 認知症施策推進会議について
(7月3日〈水〉) <橋村理事>
次第は次のとおり。
▷今年度の認知症強化型包括支援センターの取組みについて
▷その他
(詳細 略)
11. 第2回地域包括支援センター運営協議会について
(7月3日〈水〉) <橋村理事>
次第は次のとおり。
▷浪速区地域包括支援センターの評価について
▷各ランチの評価について
▷地域包括支援センター事業者選定に係る評価検討
(詳細 略)
12. 浪速区在宅医療・介護連携推進会議について
(7月17日〈水〉) <橋村理事>
次第は次のとおり。
▷議題前の確認事項等
▷各議題
(1) 多職種連携研修会について
(2) 事例検討（訪問看護ステーション）
(3) 各所属での取り組みについて
(4) その他
(詳細 略)
13. 第2回定期地域ケア会議について
(7月18日〈木〉) <橋村理事>
次第は次のとおり。
▷浪速区の社会資源共有～Part 7～「浪速区オレンジチームについて」
▷事例検討
▷その他
(詳細 略)
14. 医療問題研究委員会について
(7月13日〈土〉) <福永理事>
次第は次のとおり。
▷開会
▷特別講演
演題「医療と医療政策を複眼的に読む―拙新著『地域包括ケアと医療・ソーシャルワーク』をベースにして
講師 日本福祉大学 名誉教授 二木 立 先生
▷質疑応答
▷閉会
(詳細 略)
15. 自立支援型ケアマネジメント検討会議について
(7月10日〈水〉) <藤吉理事>
次第は次のとおり。
▷検討会議の趣旨について
▷守秘義務について
▷検討事例
-

▷まとめ

(詳細 略)

16. 第1回日本在宅医療連合学会大会について
(7月14日<日>) <藤吉理事>
標記学会にて下記のとおり発表を行った。
日時 7月14日<日> 午前11時～
場所 京王プラザホテル
演題 大阪市浪速区における医療介護連携システム：Aケアカードについて
～医師会が種を蒔き多職種で育てている連携システムの現状と今後～
発表の結果、優秀賞を受賞した。

(詳細 略)

17. その他
なし。

次回理事会

令和元年8月24日<土> 午後5時～
於：シェラトン都ホテル大阪



7月度

学術講演会報告

日 時	7月20日<土> 午後2時～
演 題	糖尿病性腎症重症化予防 ～アルブミン尿 vs. eGFR～
講 師	大阪市立大学大学院医学研究科・ 腎臓病態内科学 森 克 仁 先生
出席者数	32名
共 催	田辺三菱製薬(株)
情報提供	慢性腎不全用剤クレメジン速崩錠
担 当	富永良子

日本人の平均寿命は世界的にみてもトップクラスであるが、今後はいかに健康寿命を延伸するかが大きな課題となっている。超高齢化社会を迎え、自覚症状のない糖尿病や慢性腎臓病(CKD)などの早期の対策が求められている。特に新規の透析導入の原疾患の第一位である糖尿病性腎症の予防は、医療経済的にも極めて重要である。持続的な高血糖によりアルブミン尿から著明な蛋白尿を呈し、その後比較的急速に腎機能が低下し、腎代替療法にいたるのが典型的な糖尿病性腎症の経過である。特に治療介入によるアルブミン尿減少は腎予後の改善につながるため、微量アルブミン尿の2期の対策が重要視されている。一方、CKDも症状に乏しく、体液貯留や尿毒症などの症状が顕在化するときには、推算糸球体濾過量(eGFR) $30(\text{mL}/\text{min}/1.73\text{m}^2)$ 未満など、かなり腎機能が低下しているケースも多く、早期の発見、対策が重要となる。

腎を評価する場合、アルブミン尿(蛋白尿)とeGFRの2つを使用することになる。糖尿病における腎障害を評価する場合、糖尿病性腎症病期分類とCKD重症度分類の2つが存在し、若干の混乱が生じていると思われる。原疾患を問わないCKD重症度分類に対して、糖尿病性腎症病期分類は糖尿病症例にしか使用できないが、近年はアルブミン尿(蛋白尿)

を呈さない腎機能低下を認める糖尿病症例も増加し、糖尿病性腎臓病(DKD)という概念も提唱されている。現時点では、両分類の関係を認識しながら、腎評価を進めていくことになる。

糖尿病性腎症、DKDに特化した薬剤はなく、集約的治療の重要性が認識されている。血糖、血圧、脂質、食事を含めた生活習慣改善の指導が効果的である。大阪市立大学医学部附属病院 生活習慣病・糖尿病センターでも専属の看護師、栄養士とともに透析予防外来でチーム医療を行っているが、eGFR 30未満の4期でも蛋白尿が著減し、長期間にわたり透析導入に至らず経過している症例も経験している。

一方、治療薬の進歩も目覚ましく、透析予防の観点から、DKD治療薬として経口血糖降下薬であるSGLT2阻害薬が候補として挙げられている。従来の経口血糖降下薬では達成し得なかった心血管イベント抑制効果などが示され、腎保護作用も示唆されている。特に、最近、発表されたカナグリフロジンのCREDENCE試験は腎に特化したデザインであり、その結果が注目されていた。DKD症例を対象とし、主要評価項目は腎関連ハードエンドポイントあったが、カナグリフロジン群ではプラセボ群に対して有意なイベント抑制効果が示され、糖尿病性腎症重症化予防薬として、今後の期待されている。



9月度学術講演会のお知らせ

9月の浪速区医師会講演会はお休みです。
次回の参加をお待ちしています。



医師年金のおすすめ

日本医師会 50周年記念

医師には医師専用の「医師年金」があります

医師年金 検索 <http://nenkin.med.or.jp/>

医師年金について詳しく知りたい	医師年金ホームページをご覧ください。 または、下記までお問い合わせください。 公益社団法人 日本医師会 年金・税制課 TEL: 03-3942-6487 (平日9時～17時)
受取年金額を知りたい	医師年金ホームページでご加入時の受取年金額のシミュレーションができますのでお試しください。 ＜医師年金ホームページトップページにシミュレーション＞
日本医師会に入会したい	入会手続きは、所属医療機関のある市区医師会を通じて行いますので、直接お問い合わせください。 医師年金は「日本医師会 会費」で、「64歳から74歳未満」の方にご加入いただけます（お申し込みは4月まで）。

2017.11.01.510

浪速区在宅医療・介護連携相談支援室 からのお知らせ

7月の相談件数は3件でした。病院の地域連携室とケアマネージャーと他区コーディネーターからかかりつけ医を探してほしい依頼でした。

東ブロックの退院支援にかかる多職種研修会を10月5日〈土〉リゲッタ IKUNO ホールにて300名の研修会をおこないます。

在宅医療、介護において何か困ったことや問い合わせ等ありましたらご連絡ください。よろしくお願いします。

相談受理実績

■ 個別ケースに関する相談（R 1. 7 月度）

① 医科	0 件
② 歯科	0 件
③ 薬局・薬剤師	0 件
④ 病院 地域連携相談室	1 件
⑤ 訪問看護	0 件
⑥ 介護支援専門員	1 件
⑦ 地域包括支援センター	0 件
⑧ ⑥⑦以外の介護関係事業所	0 件
⑨ 認知症初期集中支援チーム	0 件
⑩ 他区在宅医療・介護連携支援室	1 件
⑪ 区役所・保健福祉センター	0 件
⑫ 区民	0 件
⑬ その他（ ）	0 件
合 計	3 件

■ 相談内訳（重複有）

① 医 療	① 診療所・医師に関して	3 件
	② 訪問診療できる医療機関に関して	2 件
	③ 病院（入院・転院先等）に関して	0 件
	④ 歯科に関して	0 件
	⑤ 薬局・薬剤師に関して	0 件
	⑥ 訪問看護に関して	1 件
	⑦ 医療の手続きに関して	0 件
	⑧ その他	0 件
② 介 護	① ケアマネに関して	0 件
	② 地域包括支援センターに関して	0 件
	③ 介護事業所等に関して	0 件
	④ 介護の手続きに関して	0 件
	⑤ その他	0 件
	③ 退院支援に関して	0 件
	④ 看取りに関して	0 件
	⑤ その他（内容： ）	0 件
	合 計	6 件

<お問合せ> 浪速区在宅医療・介護連携相談支援室
〒556-0022 大阪市浪速区桜川 4-11-16 アリタビル50B



浪速区医師会 活動の伝言板

令和元年9月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

3歳児健康診査

●保健福祉センター

9月26日(木)午後1時40分～3時30分
小児科 川田 信哉・本田 秀明
眼科 吉野 成泰
耳鼻科 中村 泰久

BCG接種

●保健福祉センター

9月19日(木) 午後2時～3時30分
北村 栄作・橋村 夏野子



急病診療所出務

●中央急病診療所

9月8日(日) 準夜 17:00～22:00
木田 徹・山田 郁子

●今里休日急病診療所

9月15日(日) 10:00～17:00
山口 貴也・橋村 直隆

大阪府医師信用組合『いししん』は医師会員の専門金融機関です。

組合員にご加入いただき、当組合のサービス(預金・ローン・お振込み 等)を是非ご利用ください。

自動車の購入資金やディーラーローン借り換えに。

オートローン

期間限定! 2019年3月～9月末迄の
キャンペーン金利(固定金利)

年**1.0**%

期間 **7年以内** 限度額 **1,000万円**

保証料 不要
手数料 不要

●キャンペーン金利は2019年3月1日から9月30日迄にお申し込みいただき、2020年3月31日迄のお借入分に対し適用します。
●借入名義で500万円以下のお申込の場合、原則連帯保証人不要です。

●ローン金利についてはお問い合わせください。お申込時ではなく、実際にお借入れいただく日の金利が適用されます。●原則として、ご返済終了時 お借入れ人の年齢が満75歳を超える期間でのお申込みはお受けできません。●ローンには審査がございます。審査結果によってはご希望にそえない場合がございます。何卒ご了承ください。●上記のローン以外にもローン商品を揃えております。詳細については下記の「融資お問い合わせ専用番号」までお問い合わせください。担当者が訪問する事も可能です。お気軽にご相談ください。

いししんはクリニックの経営を応援します。

診療所 ステップアップローン

保証料 不要

無担保型 限度額 **5,000万円** 期間 **20年以内**
有担保型 **3億円** **35年以内**

お子様の教育に関する資金に。

教育ローン

保証料 不要

無担保型 限度額 **3,000万円** 期間 **20年以内**
有担保型 限度額 **5,000万円** 期間 **20年以内**

旅行資金、ゴルフ・リゾート会員権購入、結婚資金等に。

フリーローン

保証料 不要

無担保型 限度額 **1,000万円** 期間 **10年以内**

※診療所の運転資金、設備資金等の事業性資金にはご利用いただけません。
※ローン金利はお問い合わせ下さい。

住宅の耐震、バリアフリー工事にもご利用いただけます。

住宅リフォームローン

保証料 不要

無担保型 限度額 **5,000万円** 期間 **20年以内**

※当初5年間は、当初10年間の固定金利型もございます。

●自宅・セカンドハウス等の
リフォーム資金に

〒543-0011 大阪市天王寺区清水谷町19-14 (大阪府医師会保健医療センター1階)

融資お問い合わせ専用番号

☎0120-947-604

平日9:00～17:00/土日祝休

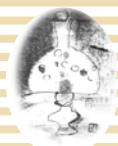
大阪府医師信用組合

いししんのホームページ

<http://www.odcu.co.jp>

ホームページQRコード





あとがき

竹中 秀裕

今年も猛暑が続き、連日熱中症や水難事故の報道がなされ、本日は台風10号のニュースで持ち切りです。この「区医だより」が皆様の手元に届く頃は台風も過ぎ去り、二十四節気の「処暑」、暑さも和らぐの意味らしいですが、少しは過ごしやすくなっているのでしょうか？

◆巻頭言の押谷先生には、前回「蕎麦」の話を寄稿頂きましたが、その後「そば打ち3段位」は合格されたのでしょうか。今回は車のお話で、多彩なご趣味を羨ましく思います。

車をご趣味の先生は多くおられると思いますが、その昔、井上薫先生からは戦後間もない時期にヒルトンに乗って患者宅を往診された話や、木下為弘先生からは愛車ジャガーに傾倒された話をお聞きしたことを懐かしく思い起こしました。最近では松崎智彦先生が「フェラーリ」の話題を巻頭言で提供されましたが、「幸せの黄色いフェラーリ」は手に入られましたか。

小生も16才で小型運転免許を所得し、その後自動的に普通免許、大型自動二輪免許が付与されましたが、2年前に後期高齢者となり、認知症テストを受けて免許更新を行いました。頻発する高齢者の自動車事故を思う時、次回さらに更新するか、免許返上するか迷うところであります。

◆理事会で「プレミアム付商品券」が話題になりました。本年10月から大阪市の発行するプレミアム付商品券が流通し、医療機関でも使用可能とのことで、商品券を持って診察を求める患者さんが来院されることもあるとのことです。しかし医療機関がこれを取り扱うには、参加店舗登録が必要なこと、釣り銭は出せない、商品券を銀行で換金が必要なこと等制約が多く、参加を表明している医療機関は少ないようです。参加、不参加は自由と

のことですが、患者さんのためには役立つの
がどうか迷うところです。

◆さて参議院選挙も終り、政府は今秋から新たな社会保障制度改革の議論を本格的に始めようとしています。

議論は年金制度を始め医療・介護すべてに及びますが、最大の論点は利用者負担の増加だと思われます。75才以上の後期高齢者の1割から2割への負担増、窓口負担に一律数百円を上乗せする「受診時定額負担」の導入、薬剤では軽症用の薬を保険給付の対象外とする。介護に関しては、介護サービス利用者の負担を1割から2割に増、「ケアプラン」作成費用の1部を利用者が負担、軽度者向けの買物や掃除などの「生活援助サービス」を介護保険給付からはずす等です。その他マイナンバーを活用し、個人の所得だけでなく資産全体を把握し、支払能力に応じた負担の仕組も検討されとのことです。今後どこまで社会保障が縮小されて行くのでしょうか、我国の社会保障の行く末を案じます。



目次	ページ
巻頭言	
我が車人生	押谷 伸英 1
理事会報告（7月開催）	2
7月度学術報告	富永 良子 6
9月度学術講演会のお知らせ	7
浪速区在宅医療・介護連携相談支援室からのお知らせ	8
浪速区医師会活動の伝言板	9
あとがき	10

【区医だより】

発行者 澤井貞子
編集者 中村泰久 藤吉理夫
印刷所 株式会社 サ ビ